



この二、三日全国的に 寒波のための大雪や 厳しい冷え込みの中でクリスマス・年の瀬を迎えています。あまりに寒い日は、おひさまの光の射し込む日向を求めますが、

日が沈み夜になると手をこすりながらあのアンデルセンの『マッチ売りの少女』の、

マッチをすっては 楽しかった時を思い浮かべる シーンが浮かびます。

明後日私たちは冬至を迎えますが、今年一年を思い巡らすときに、それぞれの「私」の今年には、「私」では収まり切れない社会や地球全体、いのちたちの世界のよろこびや苦難や悲しみ... が背後から響いてくるような気がします。

夢窓幼稚園がひとつのいのちあるものであるなら、いのちたちは形態共鳴し合うので、私たちは世界と共によろこびを享受し、社会と共に苦悩や切ない現実をも受け容れることになるのでしょう。そこに立ちながら、次の一步を刻々どう踏み出そうとするのかが、問われる時代を、私たちは生きているのだと思います。

このような時代を選んで生まれてきたのですから、子どもたちはすごい志を持っている... のでしょう。

まだ今形には 必ずしも現れていない、子どもたちの願いや存在の意味が失われることなく ゆたかにふくらんでいけるように、私たちは今どうあったらいいのか、クリスマスからの聖なる13日間(冬至の頃から新しい年のはじめの頃)に、あらためて思いたいものです。

昨日は 焼き芋のおやつと それを生み出すたき火で、心も身体も ほかほかと温まりました...

先日お願いしていた 粘土人形が出来上がり届きました。

「ゆっくり ゆったり ほのほのと」をテーマに作ってもらっていたのですが、製作者から「おじいさん・おばあさんとお孫さん」としてピクニックに行った...イメージとのコメントでした...

来年がよき年になりますように!  
園長 弁光 泰雄

